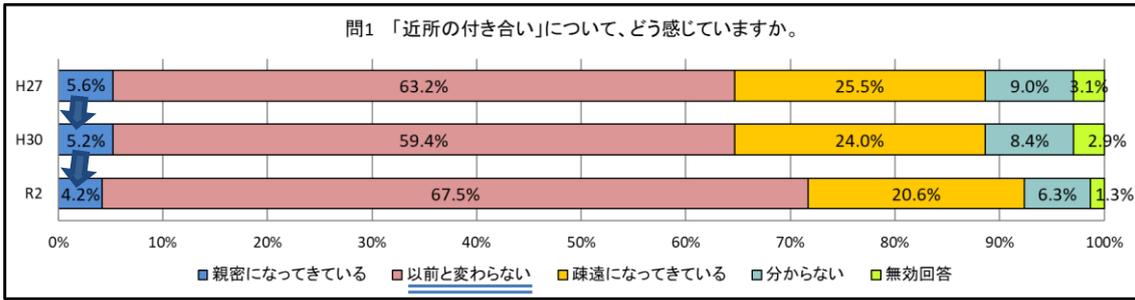
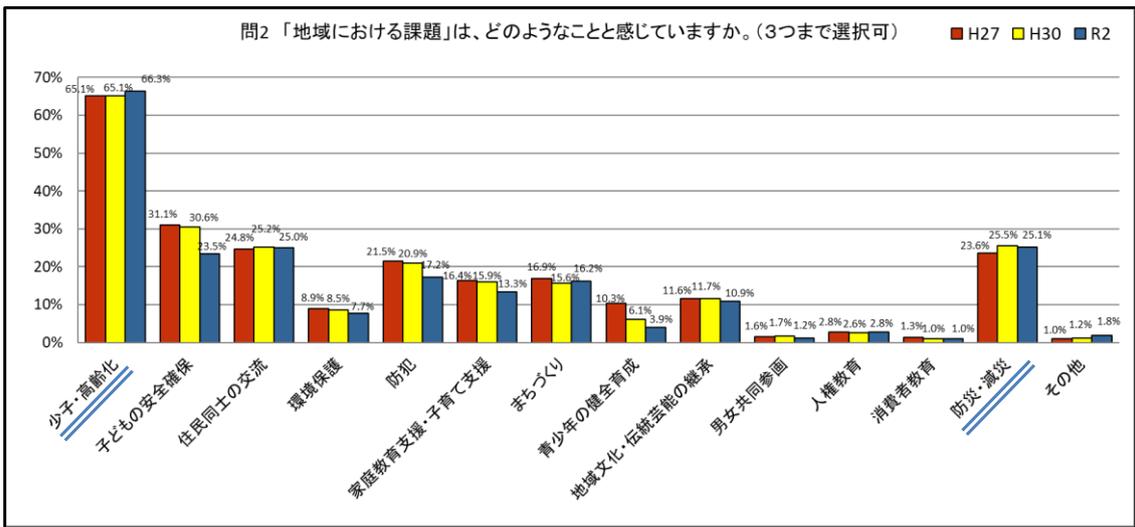


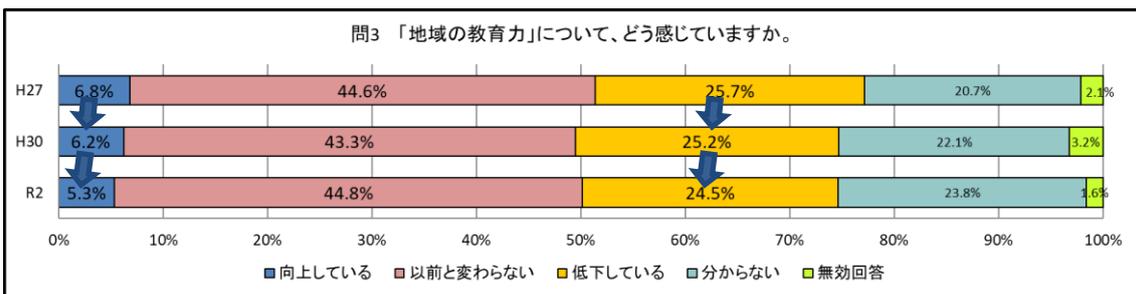
③「社会教育に関するアンケート」(大学生・社会人・保護者・祖父母)の調査結果について【比較】



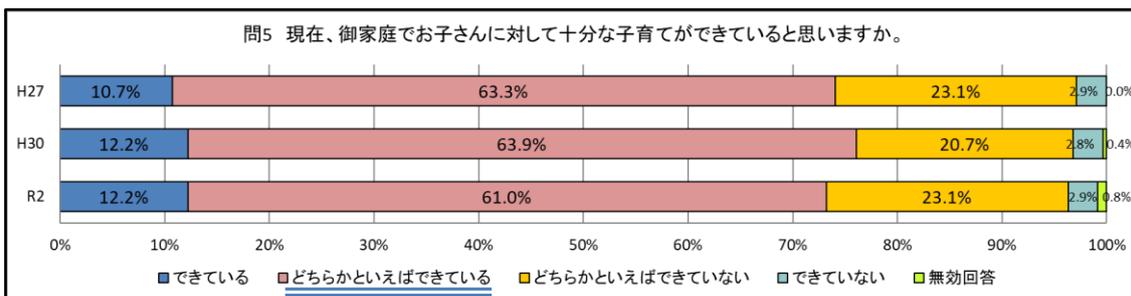
「親密になってきている」「疎遠になってきている」「分からない」と回答した人の割合が調査ごとに減少した。「以前と変わらない」と回答した人の割合がどの調査でも最も高かった。



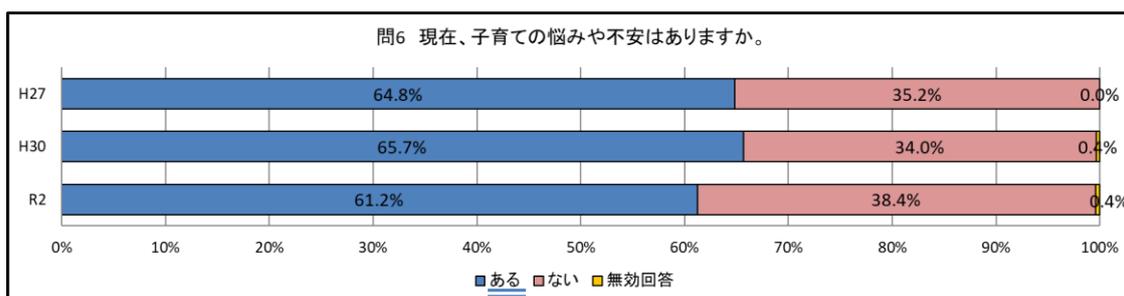
「少子・高齢化」と回答した人の割合がどの調査でも最も高かった。「防災・減災」と回答した人の割合が令和2年度は平成27年度より若干減少したが、順序では「子どもの安全確保」と入れ替わり、3番目から2番目が変わった。



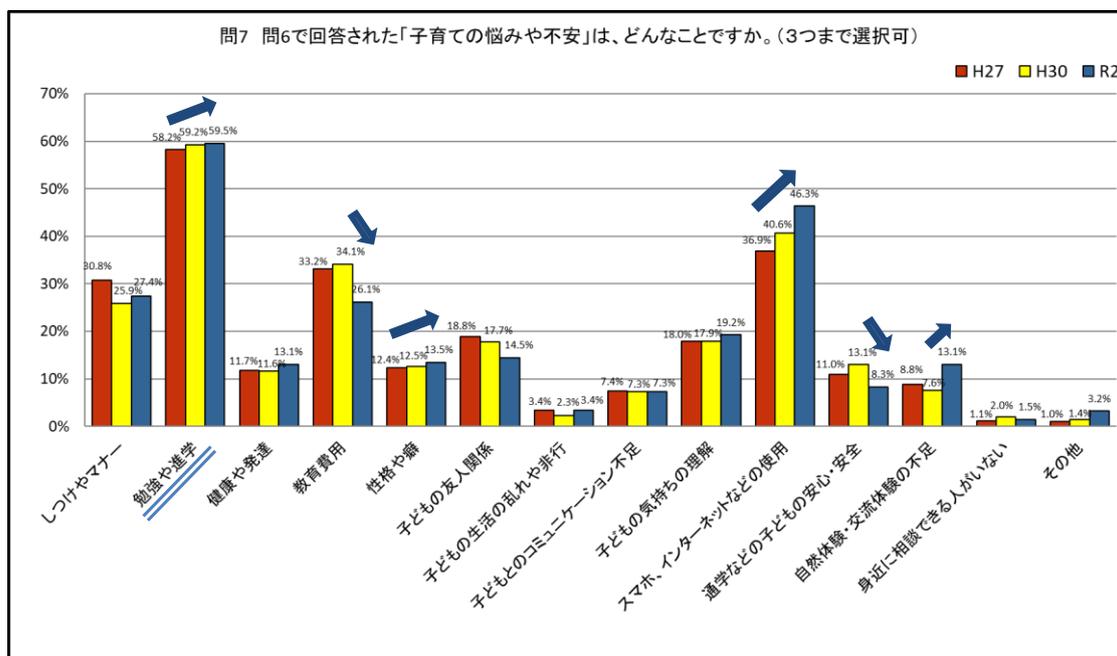
「向上している」「低下している」と回答した人の割合が調査ごとに減少した。「分からない」と回答した人の割合が調査ごとに増加した。



「どちらかといえばできている」と回答した人の割合がどの調査でも最も高かった。



「ある」と回答した人の割合がどの調査でも60%を超えている。



「勉強や進学」と回答した人の割合がどの調査でも最も高かった。「勉強や進学」「性格や癖」「スマホ、インターネットなどの使用」と回答した人の割合が調査ごとに増加した。「子どもの友人関係」と回答した人の割合は調査ごとに減少した。

伸び率では、「スマホ、インターネットなどの使用」と回答した人の割合が平成27年度から令和2年度で5.7%増加し、続いて「自然体験・交流体験の不足」と回答した人の割合が5.5%増加した。「教育費用」と回答した人の割合が8.0%減少し、続いて「通学などの子どもの安心・安全」と回答した人の割合が4.8%減少した。